

PAT-NO: JP401229700A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01229700 A  
TITLE: SURFACE DECORATION OF PENCIL  
PUBN-DATE: September 13, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME  
OKUMURA, SHIGERU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MITSUBISHI PENCIL CO LTD	N/A

APPL-NO: JP63057860

APPL-DATE: March 11, 1988

INT-CL (IPC): B43K019/00, B44C001/14

US-CL-CURRENT: 401/49, 401/292

ABSTRACT:

PURPOSE: To achieve the enhancement of decorativeness and cost reduction, by applying a required pattern to the coating surface of a pencil by dry offset printing using UV ink and subsequently applying stamping to the surface containing the pattern part due to printing.

CONSTITUTION: At first, a pattern is applied to the coating surface of a pencil 1 by dry offset printing using UV ink and stamping is subsequently applied to the surface containing the pattern part 2 due to printing using a roll type hot stamping machine to form a foil part 3 to the part other than the pattern part due to printing. When the UV ink is used, the transfer of a foil

to the printed surface of said ink becomes impossible and the foil is not transferred to the pattern part 2 due to printing but transferred to the other place and the restriction of the design of the pattern part 2 is eliminated to become free and a novel design becomes possible. Since no foil is transferred to the printed part even when the stamping part is overlapped with the printed part, both of the printed part and the foil part are respectively expressed finely and sharply.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-229700

⑤ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)9月13日

B 43 K 19/00  
B 44 C 1/14

B-6976-2C  
6766-3B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 鉛筆軸表面の装飾方法

⑮ 特 願 昭63-57860

⑯ 出 願 昭63(1988)3月11日

⑰ 発 明 者 奥 村 茂 神奈川県横浜市神奈川区入江2丁目5番12号 三菱鉛筆株式会社横浜事業所内

⑱ 出 願 人 三菱鉛筆株式会社 東京都品川区東大井5丁目23番37号

⑲ 代 理 人 弁理士 杉山 泰三

明 細 書

図柄や文字等の模様を施す装飾方法に関する。

(従来の技術)

発明の名称 鉛筆軸表面の装飾方法

従来、鉛筆軸の表面に模様等を施す方法として

は、①アップダウン式のホットスタンピングマシ

特許請求の範囲

ンを用いて鉛筆軸表面の一部に箔を転写する方法、

鉛筆軸の装飾した表面にUVインキを用いたド

②ロール式ホットスタンピングマシンを用いて鉛

ライオフセット印刷により所要な模様を施し、然

筆軸表面の比較的広いベタ面に箔を転写する方法、

る後に印刷による模様部を含む表面上に箔押しを

③鉛筆軸の表面にまず印刷によって模様等を施し

施して、印刷による模様部とそれ以外の箇所の箔

次にそれ以外の部分に上記の①又は②の方法で箔

部とによって表面を装飾することを特徴とする鉛

を転写する方法等が存在する。然しながら上記の

筆軸表面の装飾方法。

①及び②の方法は単に箔押しするだけなので模様

等は単調になり装飾性が不足して興趣に乏しい不

発明の詳細な説明

利がある。また③の方法は印刷と箔押しによって

(産業上の利用分野)

模様が施されるので幾分単調さは解消されるが、

本発明は、鉛筆軸の表面に印刷と箔押しにより

印刷した箇所以外の部分に箔押しするという制約

があるので模様を複雑にすることは困難で、いきおい単調なデザインとせざるを得ず、やはり興味が今一歩足りない不利がある。そこで最近、部箔(デッカーホットランスファーホイル)と称する多色箔とアルミ蒸着を同一フィルム内に処理した箔が開発されてこの箔を熱転写して装飾性を高める方法も行われているが、この箔は製造工程が極めて複雑で高価なので鉛筆のコストにはね返る欠点がある。

〔発明が解決しようとする問題点〕

本発明は、印刷と箔押しによって模様を施し、その模様のデザインが制約を受けず自由となり、従って単調さから解放されて装飾性を向上させて興趣を増大することができ、然もコストが低くてすむ新たな鉛筆軸表面の装飾方法を提供すること

部(2)以外の部分を箔部(3)となしたものである。

〔作用〕

UVインキを用いるとその印刷面には箔の転写が不可能となる。従ってUVインキを用いた印刷による模様部(2)を含む表面に箔押しすると、印刷による模様部(2)には箔が転写されずそれ以外の箇所にのみ箔が転写される。上記従来技術の①の方法によると、印刷による模様部(2)のデザインが複雑であったり緻密であったりすると、それ以外の箇所(例えば図示した鷹の絵柄の角と角の間の部分等)に印刷部と重ならないように箔押しすることは極めて困難で、いきおい印刷部のデザインを単純にせざるを得ないが、本発明の方法では印刷部に重なるように箔押ししても構わないので緻密な箇所にも箔押しでき、換言すれば印刷に

を目的とする。

〔問題点を解決するための手段〕

上記目的を達成するために案出された本発明の鉛筆軸表面の装飾方法は、鉛筆軸の塗装した表面にUVインキを用いたドライオフセット印刷により所要な模様を施し、然る後に印刷による模様部を含む表面上に箔押しを施して、印刷による模様部とそれ以外の箇所の箔部とによって表面を装飾することを特徴とするものである。

〔実施例〕

図示した鉛筆は、鉛筆軸(1)の塗装した表面上に先ずUVインキを用いたドライオフセット印刷により模様を施し、然る後にその印刷による模様部(2)を含む表面上にロール式ホットスタンピングマシンを用いて箔押しを施して印刷による模様部(2)のデザインの制約がなくなって自由になり斬新なデザインが可能となる。また印刷部の上に箔押し部が重なった場合でも印刷部の上には箔が転写されないで印刷部も箔部も夫々繊細且つ鮮明に表れる。従って鉛筆軸表面の装飾性が極めて向上して興趣が増大する。また本発明ではドライオフセット印刷を採用し、それに用いる樹脂版はグラビア版と異なり単時間かつ低コストで容易に製版できるので少量多品種にも対応できるメリットを有する。

〔発明の効果〕

本発明は叙上の通りであり、軸表面の装飾性が一段と向上して興趣が極めて増大し、然も安価な鉛筆の提供が可能となる。

図面の簡単な説明

図は本発明を実施した鉛筆の斜視図である。

(1)・・・鉛筆軸、(2)・・・印刷による模様部、

(3)・・・箔部。

特許出願人 三菱鉛筆株式会社

代理人 弁理士 杉山 泰三

